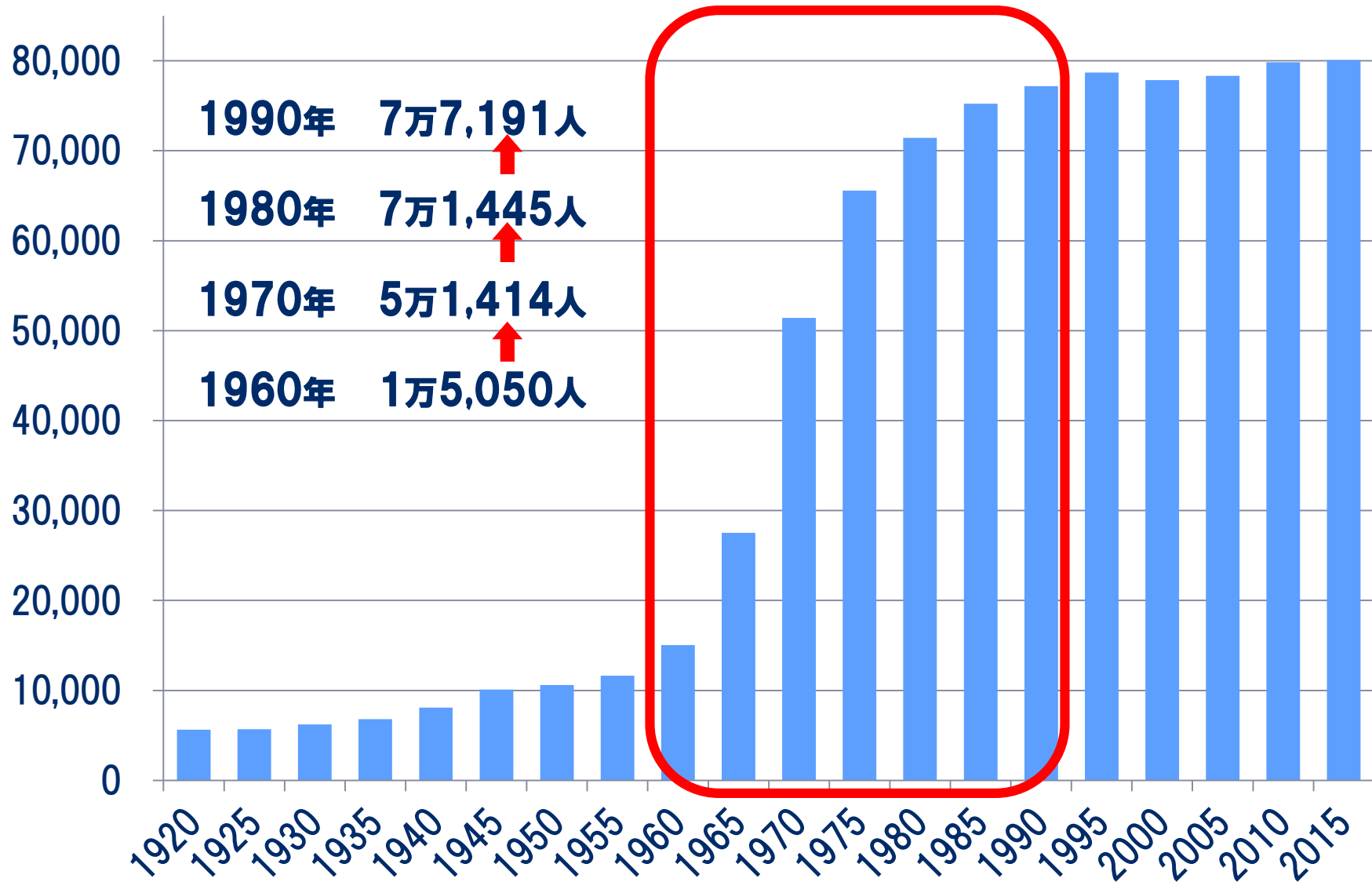




策定趣旨及び市の現状と取組みについて

長岡京市の基本情報

高度経済成長長期に急増した人口

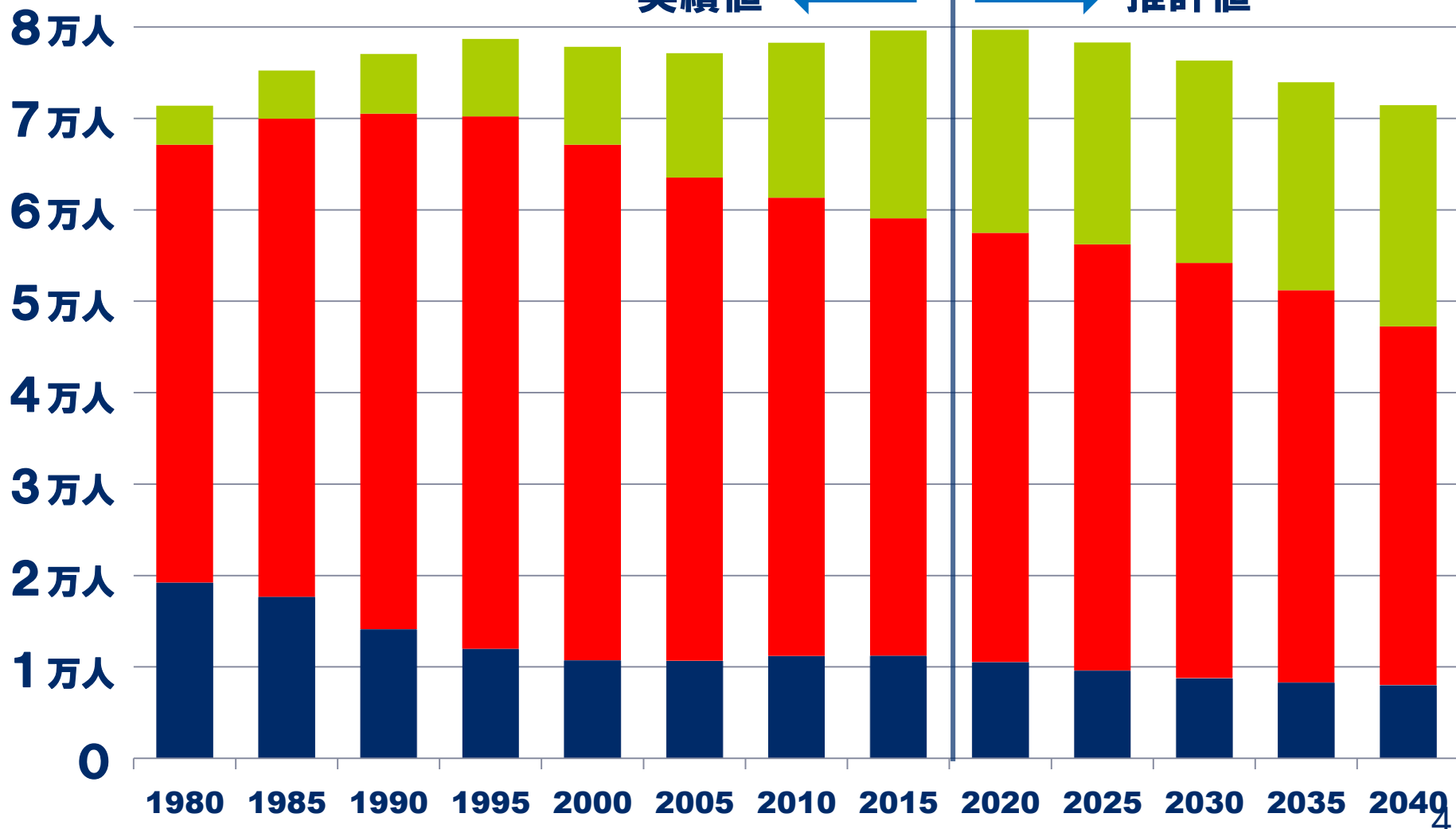


将来の人口減少と高齢者数の増加

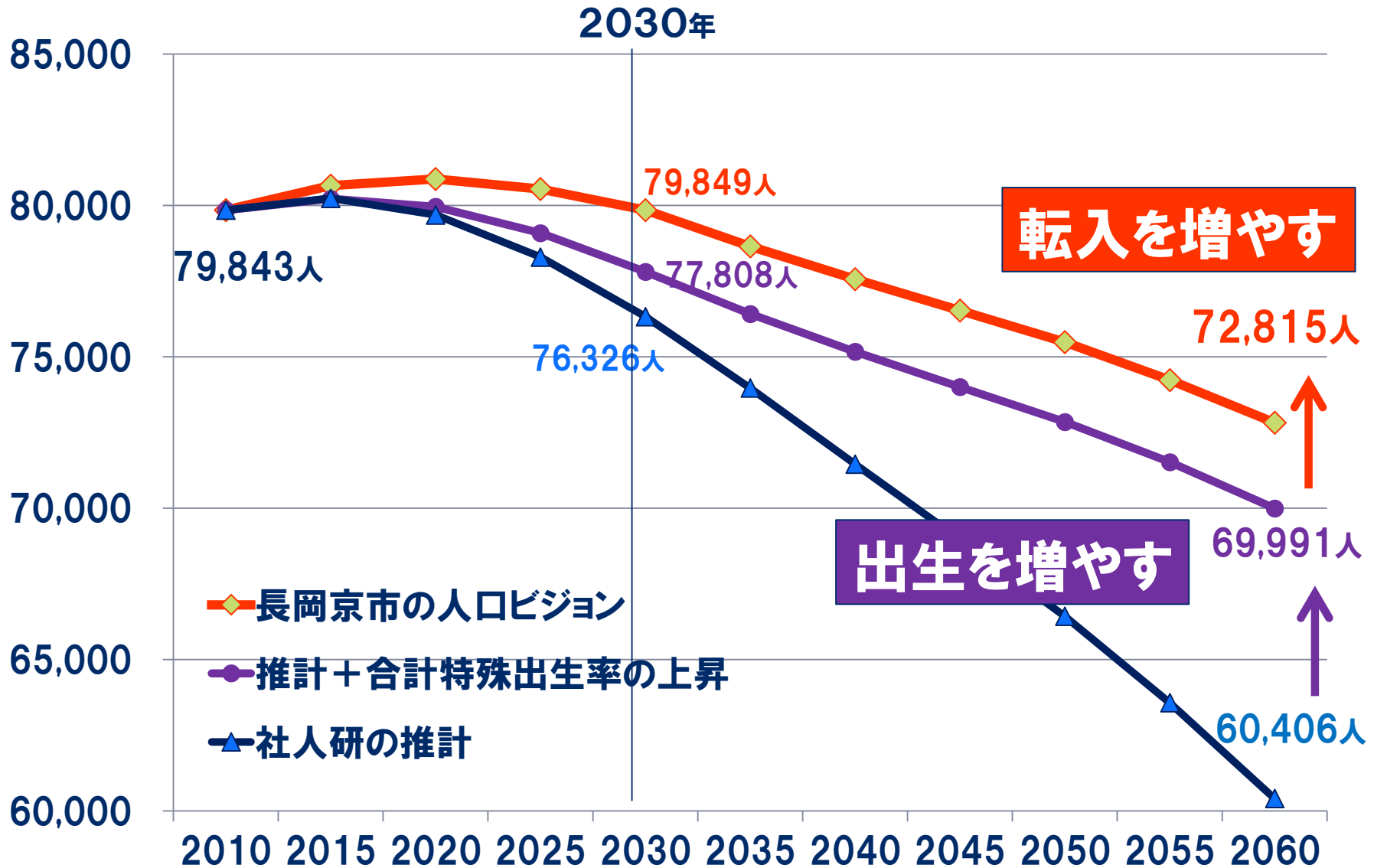
■ 0～14歳 ■ 15～64歳 ■ 65歳以上

実績値 ←

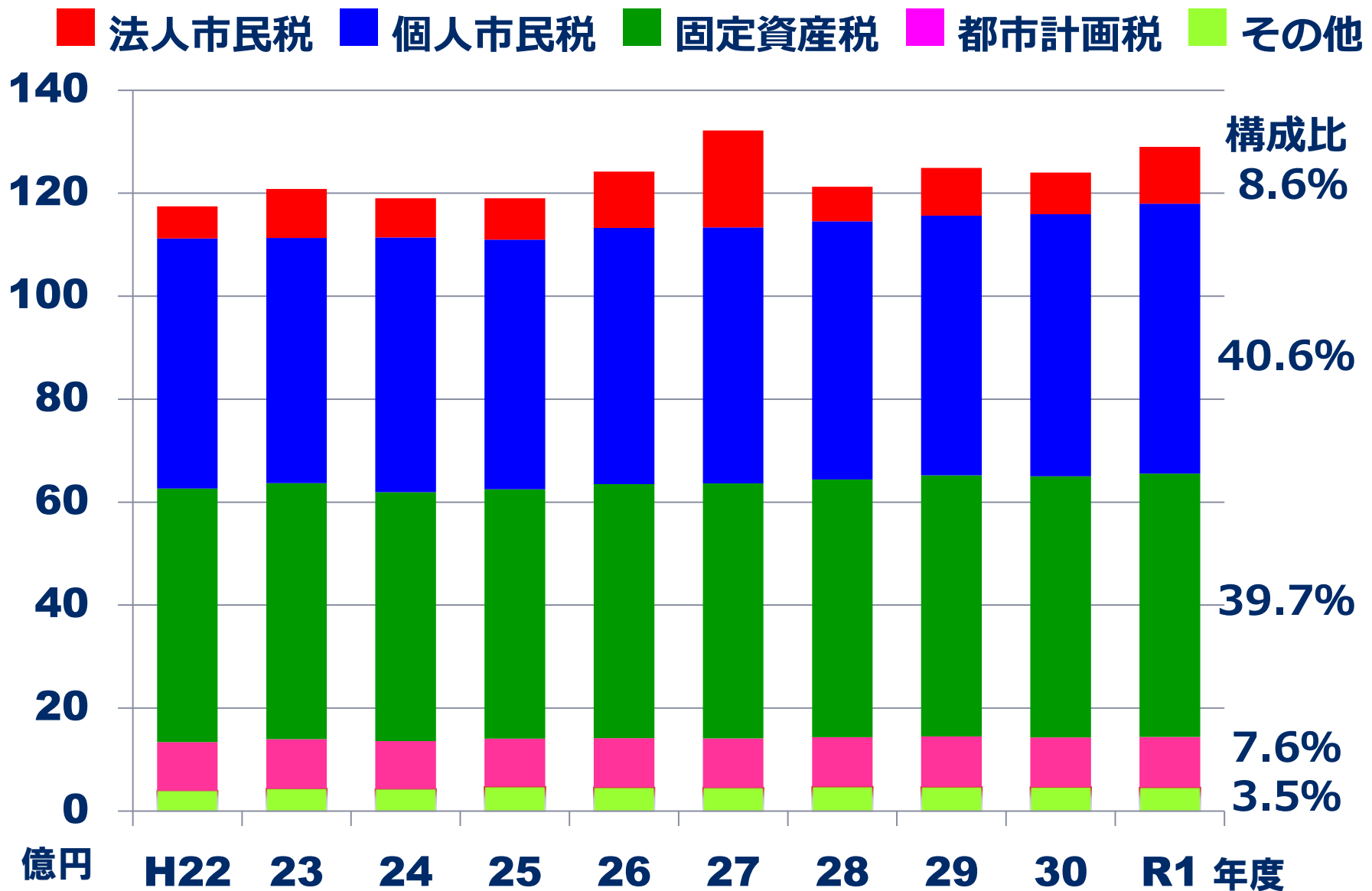
→ 推計値



2060年までの人口～出生・転入増へ～



市税収入の内訳（H22～R1）



現状と取り組み

自治会

自分たちの住む地域を
より良くするために、
地域課題に取り組んだり
交流行事をおこなったりする
住民組織

長岡京市の自治会の現状

- **57自治会**
- **加入世帯約18,000世帯**
(約33,600世帯中)
- **自治会が無い地域**
(自治会未組織地域／約2,400世帯)

自治会の主な活動

- **運動会や夏祭り**
- **防災・防犯**
- **道路や水路、公園等の美化**
- **文化、体育振興**
- **地域諸問題の解決**

自治会活動による共助

自治会活動による取組み



地域の人や情報が集まる



地域の中で繋がりができる
情報や課題が共有される

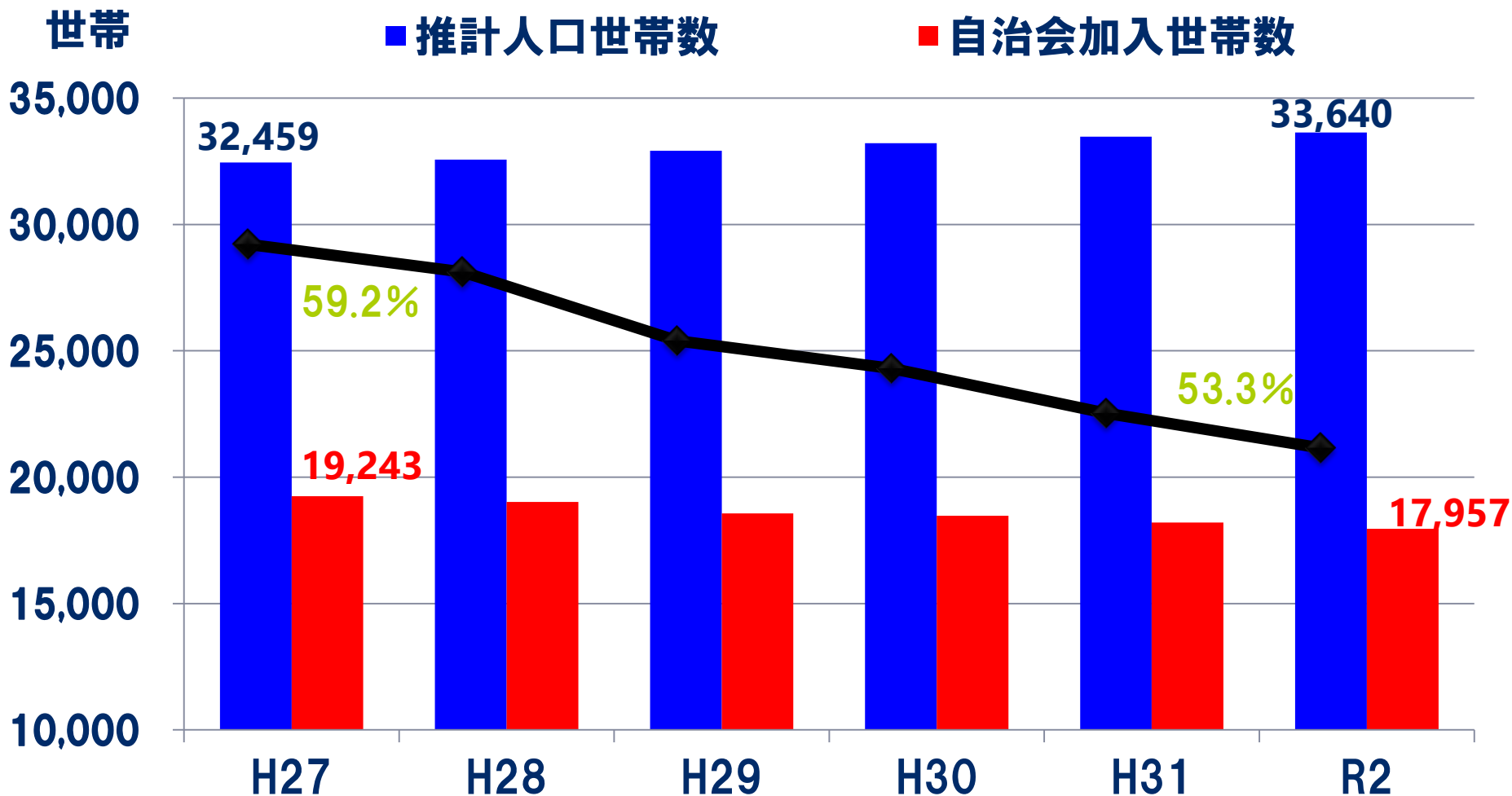


いざという時の予防・助け合い

自治会の加入率減

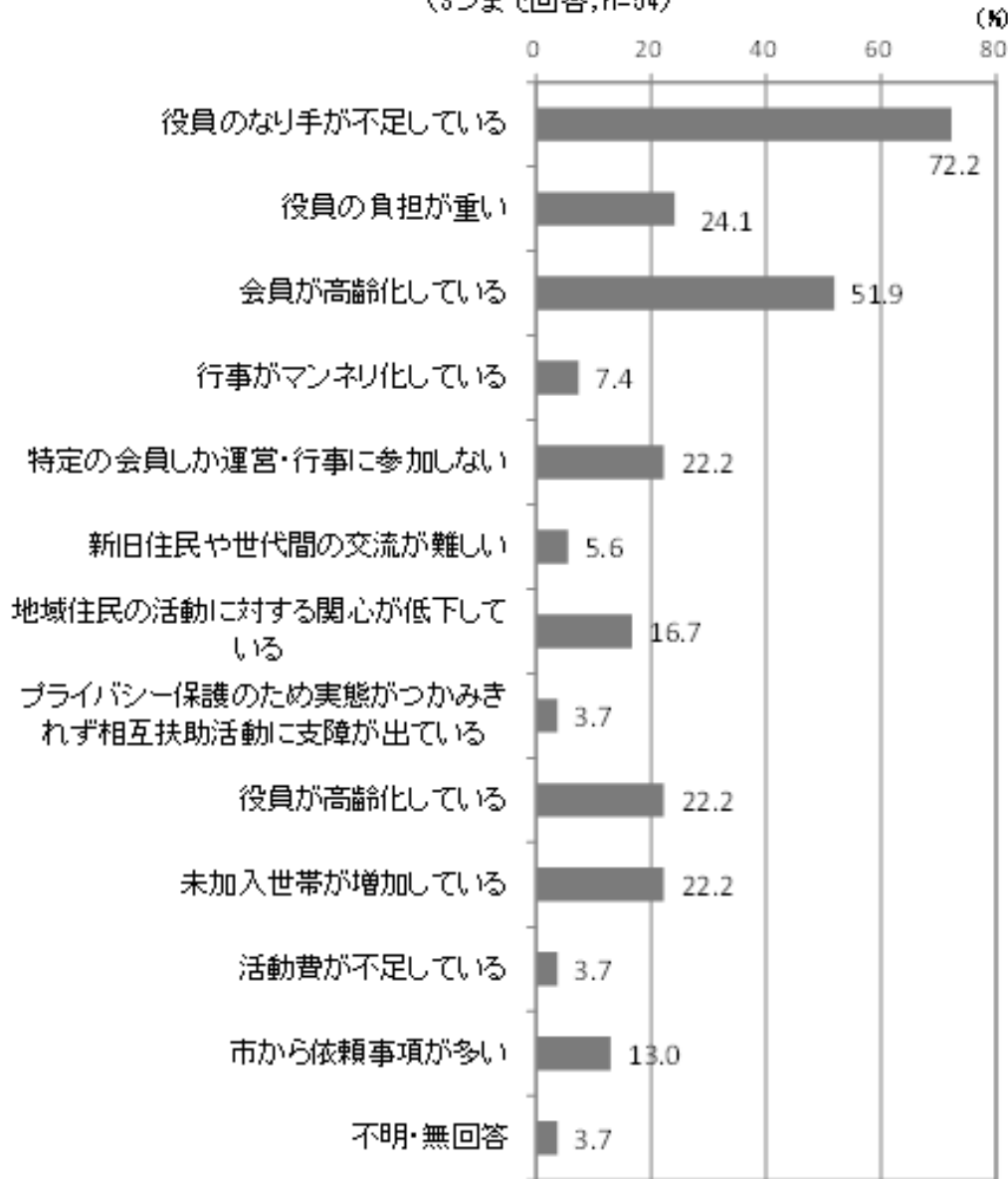
自治会加入世帯率(折れ線グラフ)： **17.7%減**(H13比)

71.0%(H13) ⇒ 53.3%(R2)



市民アンケート結果

自治会活動を行う上で、特に課題になっていること
(3つまで回答;n=54)



自治会活動を行う上で、
特に課題となっていること

- ・「役員の手数が不足している」が最も多く72.2%
- ・「会員が高齢化している」が51.9%
- ・「役員の負担が重い」が24.1%

長岡京市まちづくりのための
市民・地域活動団体アンケート
調査報告書

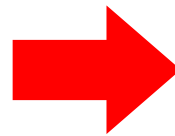
(令和元年度) より

地域コミュニティ協議会

- 地域が主体となり、**小学校区単位**の「共助」を進めるための組織
- **自治会活動と相互補完**し、**地域活動を活性化**

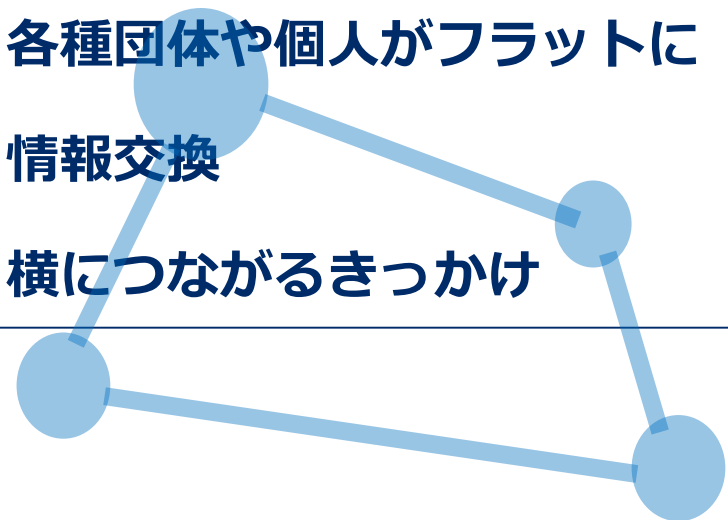
今まで

- ・ 各種団体や個人がそれぞれで活動
- ・ 横のつながり 少



協議会による地域活動

- ・ 各種団体や個人がフラットに情報交換
- ・ 横につながるきっかけ



地域コミュニティ協議会の設立状況

⇒ **現在、8校区で設立済み**

小学校区	設立状況
神足小学校区	
長法寺小学校区	H29年11月
長岡第三小学校区	H26年 2月
長岡第四小学校区	H23年 2月
長岡第五小学校区	H24年 6月
長岡第六小学校区	
長岡第七小学校区	H22年10月
長岡第八小学校区	H29年 5月
長岡第九小学校区	H23年 3月
長岡第十小学校区	R2年2月

地域コミュニティ協議会

【目的】

- 高齢者福祉
- 子どもの見守り
- 防災・防犯
- 環境保全 等

⇒広域の視点

【構成団体】

- 自治会、自主防災会
- 民生児童委員
- 学校、PTA、
学校開放
- 総合型地域スポーツ
クラブ

ほか校区により異なる

地域コミュニティ協議会の活動例

全小学校区一斉避難所運営訓練

10月最終日曜日 市の「防災の日」



民生児童委員

- **地域住民の一員として、
地域で顔の見える関係を作
りながら地域の福祉を担う
ボランティア**
- **自治会等地域からの推薦で担う**

民生児童委員の活動内容

- 担当地域の、高齢者や障がいのある人の安否確認や見守り
- 子育て世帯に対する支援活動
(ベビーダンス教室の開催など)
- 子どもたちへ通学路での見守り活動
- 地域課題が深刻化しないよう行政や専門家へつなぐ
- 地域福祉協議会の実施する事業への協力

テーマ型の市民活動団体

- 「地縁単位」ではなく、「テーマ（課題）」を解決するために集まっている団体
- テーマは「子育て」「環境」「防災」「高齢者福祉」などさまざま
- 市内に約170団体以上存在する
R2.11月末時点
市民活動サポートセンター登録数

条例の背景と目的

条例策定の背景と目的

- 自治会加入率の低下
- 地縁的なつながりの希薄化



地域力の低下への懸念

条例策定の背景と目的

多様化する市民ニーズ、地域課題、
自然災害に対応するには、“地域力”が重要



地域のことを自分ごと化して
考えていく

条例を作る背景と目的

なぜ（仮称）自治振興条例を作るのか



- 市民と市役所が対等な立場で、互いの現状や課題、地域のニーズなどを共有し、解決策を考える仕組みを作る。
- 市役所が多様な市民（団体）との対話や情報共有、地域活動のサポートをしていくための姿勢や仕組みを整える。

この条例の作り方

- 条例をつくる過程で地域の課題や考えを共有することを重視
- 自分ごとと化会議などの中から、市民や地域で新たな行動が生まれ出されることも期待